

にこにこ いっしょに

にこにこども園の自己評価を生かした取り組み
【令和6年度から令和7年度】



三輪車サーキット(5歳児)



にこにこども園 菅原由比



資料1

にこにここども園の自己評価

※にこにここども園では、園評価を「自己評価」と称して実施している。

- ・Ⅰ、Ⅱについては法人5園で共通。
- ・Ⅲ～Ⅶはそれぞれの園の実態に合わせた設問になっている。
- ・にこにここども園では令和5年度、令和6年度は設問を変えず実施した。

令和 6 年度		自己評価		にこにここども園		
評価基準 A:よくできている B:おおむねできている C:やや努力を要する D:努力を要する						
氏名						
項目	内 容	評価				意見
		A	B	C	D	
Ⅰ 教育・保育課程、指導	・指導計画は、教育・保育目標や重点目標を具現化し、達成に近づくものになっている					
	・内面理解や保育を見取る必要性や具体的な方法を、全職員で共通理解している					
	・子どもよく遊び、子どもの思いを共有したり気付きを認めたりしながら子どもが関わりたくなるような環境の醸成をしている					
	・保育の記録、資料、評価を蓄積している					
Ⅱ 運営・体制	・一人一人の発達や課題について理解し、明確なねらいをもって援助している					
	・はななき福祉がしめす理念や園運営の方向性が示され、達成に向けた手だてを思い出している					
Ⅲ 研修	・職務内容が明確で、協働できる体制になっている					
	・職員会議や各種会議、担当者の打ち合わせは適切に行われている					
Ⅳ 連携	・一人一人の職員が運営に参画している					
	・園内研修テーマ、設定理由を理解し、研修に取り組んでいる					
	・話し合いを重ねることで、共通理解を深め、自身の学びとなっている					
	・園内研修や外部研修を通して、自分の保育を振り返り、意識して実践につなげている					
Ⅴ 子育て支援	・各種研修会、講習会に目的を理解したうえで参加し、その情報園内で共有することで、自らの質の向上につなげている					
自由記述						

評価基準 A:よくできている B:おおむねできている C:やや努力を要する D:努力を要する						
NO2						
項目	内 容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
Ⅳ 連携	・園小連携は指導者間(園小)の相互理解と円滑な連携に向けた取り組みとなっている					
	・園小連携の意義や内容(取り組みや成果)を全職員が情報共有、共通理解して向かうことができている					
	・支援関係機関と様々な情報を共有し、支援体制が整っている					
	・地域との連携を通して、園の取り組みを発信し、理解してもらえるよう努力している					
Ⅴ 子育て支援	・さまざまな家庭状況を踏まえ、信頼関係をともに適切な支援をしている					
	・連絡帳やクラスだよりなどで子どもの育ちを伝え、家庭との連携を図っている					
	・子育て支援事業として「なかよし広場」を行い、未就園児育児支援や親同士の交流を深める場となっている					
	・保育を行っていく中で知り得た情報には守秘義務がある知っており、守っている					
自由記述						

評価基準 A:よくできている B:おおむねできている C:やや努力を要する D:努力を要する

評価基準 A:よくできている B:おおむねできている C:やや努力を要する D:努力を要する						
NO4						
項目	内 容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
Ⅵ 行事	・行事の意味や意図を明確にし、日常と保育とのつながり考えた計画のもとに実施している					
	・行事を通して子どもの成長を実感し、次の活動につなげている					
	・クラスだよりや連絡帳、口頭などで保護者へ行事の意図を伝え、子どもの成長を共に喜び合うことができたか					
自由記述						

評価基準 A:よくできている B:おおむねできている C:やや努力を要する D:努力を要する						
NO3						
項目	内 容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
Ⅵ 保健・安全	・避難訓練、安全指導では計画に基づき行い、様々な状況に応じて臨機応変に対応できている					
	・子どもが心身ともに健康で安全な生活ができるよう、健康状態や発達、発育の把握に努めている					
	・ヒヤリハットについて職員間で事例を共有することで、事前に対策を取り配慮している					
	・新型コロナウイルスや感染症について、適切な対応を行うとともに、家庭との連携を図っている					
Ⅶ 情報	・アレルギーの子どもに対して、職員全体で共通理解し、適切な対応をしている					
	・保育をする上で必要な情報を職員間で共有し、適切に取り扱うことができている					
	・園目標など園が目指す方向性や、それに向けての取り組みを様々な方法で発信できている					
	・子どもの様子や園の出来事、連絡事項など利用者の知りたい情報を的確に伝えることができている					
自由記述						



～令和 6 年度の変容～

【1】指導計画へのアドバイスの変容

～SOAPの視点を取り入れた園内研修の取り組みの中で～

【2】ヒヤリハット事例の出し方

資料2① 指導計画へのアドバイス記入(令和6年4月～11月)

コメントを記入することで職員のモチベーションアップにつながる。
課題：記入スペースが少なく指導的なことを書くには至れなかった。

ここにこども園			
	園長	副園長	担任
検印			
行事			
25日 保育参観			
を楽しむ。 素材を使って制作を			
をする。 とする。			
習者の援助(養護を含む)			
「〇〇したい」「一緒に〇〇しよう」など、言葉で 言や仕草など自分なりの方法で伝えようとしていた りなかったり、ものや場所の取り合いになったりし り合うこともある。 で伸び伸びと思いを伝えられるようにする。 面では、危険のない限りは自分で伝えようとしてい に応じて必要な言葉を伝えたり、気持ちを代弁して く。 はその姿を十分に認め、また言葉で伝えようという 信につながるようにしたりしていく。			
り・評価			
り、またごコーナーで母さん役、お父さん役、赤ちゃん る中で保育者や友達とのやり取りを楽しんでいた。また、 りやり取りしたりしながら楽しむ姿が見られた。 り合わせた素材や小道具を準備したことで、友達と一緒に りたい」と憧れをもつ姿も見られたので、お気に入りの りに向けて賑やかな雰囲気も感じられるようにしていきたい。			

17日 ソフト積木で家づくり
最初 A,B児 1,私 3人
C,D,E,F,G児
徐々に増える。
A児 「一緒に違うついで遊ぼう」
ちほり増えるのが嬉しかった。

Bring Bang Born ブーム多
「歌いた～い」「踊りた～い」と
いう多発。
歌ったりおどったりはねたり 手拍子したり太鼓をたたいたり
自由に表現中め 気持ちよさそうでした。

ピクニック C,D児 ミートいて弁当広げて
途中でフイロをたててこまごまスペースに
お買い物 K児 登場 「K児 もりた！」
「まずお買い物いかないと！」
「買い物するから一緒にお金をつくらなくて！」
「お金入るやつもつくらなくて！」 → 財布づくり
しじかあると
お店やさんとかに
なかなかなる

他クラスがやるのを見て 真似から始めようという気持で...
色水・石けんには興味もう始まる。
「突っ込んで色水や石けん」
「あらあらいい匂いする！」
「にいくみも
石けん
準備はいい」
以前少しだけやったドミノゲーム再来。
一人でじっくり挑戦中。
友達がバツかてたおたないよう場の保障を。
やりたそうそうじやめるの。とてもよいですね。

お化け (はしきみ、えらくみ) さんきよう
20 ぺりあずおめしつけてたりする。
H,A児 優しいお化け F児 からは
C児 あんちゃんお化け J児 白いお化け
M児 いびきニャニャお化け
「イキニャニャ」
21 F児 「電気つけて」「カーテンもやって」
みんな まくらだ～！ お化けさんきよう！
えらくみの招待状みて
C,F児 「にいくみにきてねのちっくした」
他クラス招待しておどかし↑
自立の芽生え
てあ。

やりた～い！ やってみたい！ カ
たさし見られた。

★ M児 お兄さんいニッテビュ～
以前よりスムーズにトイレに
向かうように！
ぬる回数も激減。

資料2② 指導計画へのアドバイス記入(令和6年12月～現在)

週案(表)自分の記録や管理職のアドバイスを週案作成にいかしていく。

		ここにこのことも園		
		園長	副園長	担 任
自分で行うことができ て遊ぶことを楽しむ	検印			
い ・ 内容	行 事			
式してみたり友達と共有したりするこ 発見したことを友達に言葉で伝えな イメージ、ルールを共有しながら遊ば	11日(水) 北浦教育研究所訪問			
育成 ☆保育者の援助(義護を含む)				
友達とイメージを共有しながらごっこ遊びをする。 (キャンプ、バーベキューごっこ、ままごとなど) 素材を組み合わせていろいろなものを作ることを楽しんだり友達で作っているものに興味をもち真似して作ってみようとしたりする。 遊びに必要なものをつくったりイメージを形にすることに使うたりできそうな素材や廃材、用具を用意する。 子どもの見立てやつもりに共感し、保育者も同じイメージで遊んだり声を掛けたりしてごっこ遊びを楽しめるようにしていく。 つくりたいをうまく形にできず困っている時には一緒に作り方を考えたりつくったりしながら表現する楽しさや達成感を感じられるようにする。 仲間を集めルールを決めたり確認し合ったりしながら鬼ごっこをする。 他の子どもの遊びや動線に配慮しつつ伸び伸びと体を動かせるようスペースを確保する。 後から遊びの仲間に入ったり子どもに先に遊んでいた友達の思いやイメージを伝えたりルールを確認したりして関わって遊ぶことを楽しめるようにしていく。				
保育の振り返り・評価				
水、泥、土、砂、石などを通じて自分の考えを表現したり、友達の考えを表現したりする姿が見られた。友達と見たり話したりして自分も同じように取り入れたりする姿も多かった。その過程では数人や異なって考えを出し合ったり、自分の考えを表現したりして遊びが止まったりすることなく、自分の思いを出して相手の考えに合わせた。受け入れたことを楽しむよう関わっていた。				

週案(裏)保育者の記録は、SOAPの視点を取り入れた記録をしている。書きやすさ優先で、書き方を決めていない。

[illegible]

11日(土) 雨で外練できず
ホールのチャタール、わねとひ
②の花王と鬼ガツ
はは組 H児 「おはしゃきヤリハ、
のーん J,B,I,L児
が反動「ソビてる」に鬼組様の
組と係は、アツ目玉をpinで
係で保育室内に、アツして
おはしゃきヤリに始める
~~~~~  
↓  
イメージは2年前  
霧が消し、  
かたて 子供とペ  
アツくおどろ  
何と泣く。

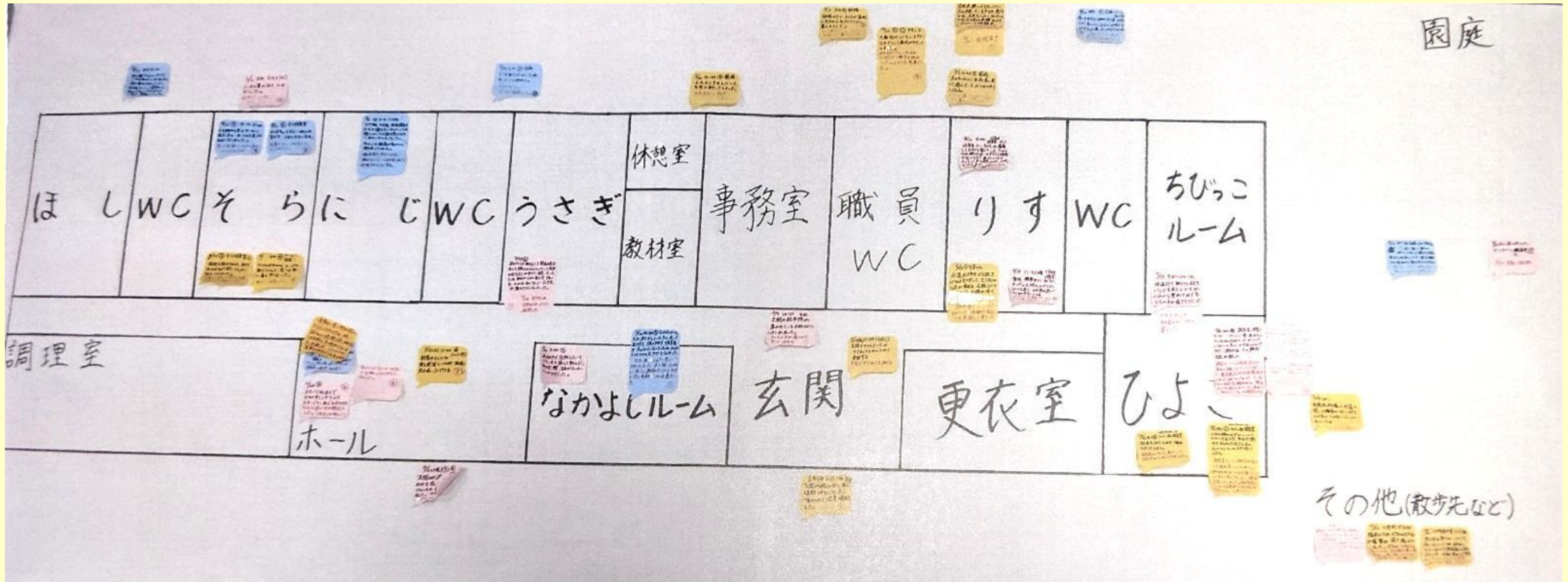
灰塵のおかげで鼻に付く花粉の量が  
 2割減りました。  
 屋中用<sup>M</sup>児 花粉用は2割減  
 イー・ジェンに付いた。 A児  
 赤い服を着ておき  
 C,D,F児 花粉用は2割減  
 しては、前より1日電費消して  
 ました。

K児  
 ②おむすのバクダヤ  
 株に白いものをまきつけた。  
 やつと作るにころむはいはな  
 いど途中の。 N児 と一歩前  
 前歩へ。 ②おむすのバクダヤ  
 J児 おむすのバクダヤ

管理職の記入欄を設けた(12月から)  
具体的に良いところやアドバイスを記入  
できるようになった。

[illegible]

### 資料3 自己評価からの取り組み～ヒヤリハット事例の出し方の改善



★付箋に危険が予想されたことを書き出し、園の平面図に貼って掲示する。

★職員会議時に1か月分ずつまとめて報告し、職員周知する。

「こんな軽微なことがヒヤリハットになるのだ」と職員の気付きが増え、保育の中での危険予想につながってきた。

～令和7年度の重点的な取り組み～

◎全体的な計画と園目標、保育の重点について

◎小学校との連携について



# 資料4 にこにこ子ども園の全体的な計画

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |  |                                                                                                                                                       |  |                                                                                                                                                                             |  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 令和7年度 にこにこ子ども園全体的な計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |  |                                                                                                                                                       |  |                                                                                                                                                                             |  |
| 社会福祉法人はなさき仙北の基本理念<br>～子どもたち一人一人に花を咲かせよう～<br>子ども達が夢と希望をもち心身ともに健やかに成長し、郷土を支える豊かな花を咲かせることができるよう、信頼される法人として、地域社会に貢献します。                                                                                                                                                                                                                                                                                             |  | ＜園目標＞ 心豊かに たくましく ひろがれ にこにこの輪<br>＜教育保育方針＞ 豊かな心をもち、生き生きと活動する子どもの育成                                                                                      |  | 秋田県が目指す子どもの姿<br>心・体いきいき、思い切り遊ぶ子ども                                                                                                                                           |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |  | 今年度の重点<br>優しさを 輪かちあい 自分らしく遊べる子ども<br>キャッチフレーズ 「にこにこ いっしょに」                                                                                             |  | 安全教育<br>○日常生活の場面で安全な生活習慣や態度を身につける。<br>○様々な危険を想定した対応や、体制づくりと環境の整備を行う。<br>○危機管理マニュアルの整備と徹底を図る。                                                                                |  |
| 園の経営方針<br>○子どもの資質・能力を育む、温かく豊かな保育者の創意工夫に溢れる保育の実践。<br>○職員一人一人が思いをもち発言し合い、やりがいをもって保育にあたる園づくりを目指す。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |  | 目指す保育者の姿<br>○心身ともに健康で明るい保育者<br>○子どもの命を守り、一人一人を大切にしている保育者<br>○感性豊かで創意に満ちた保育者<br>○研修に励み、保育の質の向上に努める保育者<br>○チームワークを大切にし、共に高め合う保育者                        |  | 目指す子どもの姿<br>○思いを伝え合いながら、生き生きと活動する子ども<br>○情緒豊かで思いやりのある子ども<br>○すすんで物事に取り組み、葛藤や困難を乗り越えていく子ども<br>○自然や動植物に関心をもち、命を大切にする子ども                                                       |  |
| 研究主題<br>やってみたい やってみよう<br>自ら心を動かして遊ぶ子どもを目指して<br>～やりたいが継続するための援助や環境を探る～<br>各年齢の研究の視点<br>0歳児～安心できる保育者と一緒に探索活動をする中で、身近な人やものに興味・関心をもつ子ども<br>1歳児～一人一人が自分の思いを安心して表現しながら、興味や関心をもってやってみたいことに向かって楽しむ子ども<br>2歳児～安心できる環境のもと、保育者や友達と関わったり、様々な思いを表現したりしながら伸び伸びと遊ぶ子ども<br>3歳児～様々なことを自分なりに考えたり、友達や保育者と伸び伸びとやりたい遊びを楽しんだりする子ども<br>4歳児～自分の思いを伝えたり、相手の思いに気付いたりして、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ子ども<br>5歳児～相手のよさに気付き、友達と思いや力を出し合いながら、一緒に活動することを楽しむ子ども |  | 特別支援<br>○特別な支援を必要とする子どもが、安心して生き生きと生活できるように、園全体でその子どもの発達過程や心身の状態を把握し、定期的に話し合う場を設け職員の共通理解を図る。また、園内外において特別支援教育の研修を受け、保護者や関係機関、市内の園小中と連携を取りながら支援に取り組んで行く。 |  | 食育の推進<br>○バランスの取れた給食を実施し、食べることの楽しさを伝える。<br>○よく遊び、お腹が空くことによって喜んで食べることを大切にしていく。<br>○望ましい食習慣と感謝の気持ちを育てる。<br>○年間を通じて栽培やクッキングに取り組み食材や調理等への関心を広げる。                                |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |  |                                                                                                                                                       |  | 小学校との連携 地域との連携<br>○園と小学校の職員が教育・保育の内容や指導方法の違いについて相互理解を深め、円滑な接続に向けた望ましい連携を図る。<br>○参観や交流を通して、小学校や園についての理解や、子ども同士、教職員同士のつながりを深める。<br>○地域の良さを知り、身近な人と関わる。<br>○紙風船上げ等、地域の行事に参加する。 |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |  |                                                                                                                                                       |  | 子育て支援事業<br>○子育て支援拠点事業<br>・未就園の親子を対象に遊びの場や仲間づくりの場を提供する。(なかよし広場)<br>・保護者の相談に応じ情報提供や支援をする。<br>・子育て家庭への情報誌配布。<br>○一時保育事業 ○預かり保育事業                                               |  |

- 令和7年度は園目標と保育の重点、研究主題などのつながりを職員で意識したい。保育の重点を職員全体で決めた。
- 園のキャッチフレーズをつくり、園目標や保育の重点を職員や保護者、地域にも意識しやすくしている。

## 資料 5

キャッチフレーズを用いて、園目標も意識しやすくした。

### 園要覧



社会福祉法人はなさき仙北

幼保連携型認定こども園 **にこにこども園**

〒0

TEL

### 園だより



先週は夕涼み会の活動に一生懸命取り組み、「プール楽しみ！」と活動後に水遊びをする子どもの姿がありました。今週は朝から虫取りや砂遊びをする姿が見られ、4、5歳児は小学校のプールにも出掛けています。大きな行事を終えて子ども一人一人の言葉や動作に自信や成長が感じられます。この夏も酷暑になりそうです。しっかりと休息を取り、家庭で過ごすお盆の墓参りやレジャーなどの時間も大切に、夏ならではの経験を味わってほしいです。

【夕涼み会】 急遽室内開催となりましたが、保護者の皆様のご理解があって熱中症等危険を回避し、盛大に開催できたことが本当によかったです。

事前準備、当日の出店へのご協力等、保護者会行事部の皆さんには大変ご難儀をかけました。ご協力いただき本当にありがとうございました。保護者の皆様には、年度末(1月)の保護者アンケートで意見を伺い、次年度につないでいく所存です。



～ほし組保護者の声～

園だよりは保護者、小学校、地域も配付されるので、キャッチフレーズも入れながら、園を知ってもらう内容で作成している。

## ～にここにこども園 自己評価からの取り組み 成果と課題～

### 成果

- ・園全体での取り組みについての成果と課題が明確になった。
- ・重点目標について全職員の共通理解が深まった。
- ・指導計画にコメントを残すことで保育の質の向上が少しずつ図られてきた。



### 課題

- ・職員一人一人の考えを引き出し、意見を集約し、どのように改善に結び付けるかが課題。

- ⇒ ・中間評価を行う(9月)。
- ⇒ ・課題についてチームとして検討していく体制づくりをする。



スタンプ遊び(1歳児)